

# 『営農アンケート』集計結果の説明

～山北地区集計～

1

令和3年2月12日  
香南市農林水産課

## 『営農アンケート』集計結果の説明目的

- 営農アンケートの結果を地区会合の参加者間で共有し、**地区での共通課題を参加者で確認**する。
  - 農地所有者や農業者の年齢構成を知り、後継者の有・無を含め、今後の地区の農業継続性の現状を理解する。
  - 農業者や農地所有者の農地の現状認識を確認する。
  - 持続可能な農業に向けての考え方の傾向を共有する。
- アンケートの内容をできるだけ可視化し、地区の会合で**活発な議論を呼ぶ材料**とする。
  - 自由記述意見をコメントとして記述し、できるだけ生の声を再現する。

## 注) 営農アンケートの利用について

- ① アンケートでご回答いただきました内容は、『人・農地プラン』事業関係の事項に利用させていただき、他の目的では使用しません。
- ② 地区の会合等でアンケートの集計結果のまとめを説明する際に、お名前などを含めてプライベートな事項は出ないように処理したうえで、コメントを利用させていただきます。

地区の皆さま、ご了承をお願いいたします。

## 『営農アンケート』の概要

- 目的：人農地プランの策定に向けて、農地所有者、後継者、耕作者の現状、今後の営農の意向を把握する。
- 対象：香南市にある農地の所有者、後継者、耕作者
- 方法：郵送でのアンケートへの回答、または農業委員・推進委員による戸別訪問での聞き取り
- 使用データ：農家台帳（令和元年12月16日時点）
- 件数：宛先不明等を除いた実質 5,864件 （総数 7,302件）
- 実施：令和元年12月～令和2年7月
- 回収終了：令和2年9月23日
- 回収件数：3,330件 （56.8%）
- 面積：1520ha （64.4%）

# 香南市と山北地区の営農アンケート回収状況

5

(注) 農業委員・農地利用最適化推進委員による個別訪問調査も含む

- 380通送付し返信数は203通であり、返信率53.4%となった。
- 返信者の農地所有面積集計では、地区全体の68.4%となった。

表1) 地区別返信率 (人数)

No.	地域	実質数	返信数	返信率
1	佐古	303	185	61.1%
2	西野・大谷・深淵	560	319	57.0%
3	下井・上岡	314	208	66.2%
4	東野	433	216	49.9%
5	富家	285	156	54.7%
6	香宗	235	143	60.9%
7	吉原	290	146	50.3%
8	古川	200	130	65.0%
9	赤岡	174	118	67.8%
10	徳王子・岸本	592	344	58.1%
11	山南	484	266	55.0%
12	山北	380	203	53.4%
13	西川	247	140	56.7%
14	東川	209	113	54.1%
15	舞川・撫川・奥西川	103	57	55.3%
16	西山・坪井	397	231	58.2%
17	十ノ木・上夜須	181	95	52.5%
18	夜須川・細川・国光	207	124	59.9%
19	羽尾	36	26	72.2%
20	手結山	234	110	47.0%
	合計	5,864	3,330	56.8%

表2) 地区別返信率 (面積)

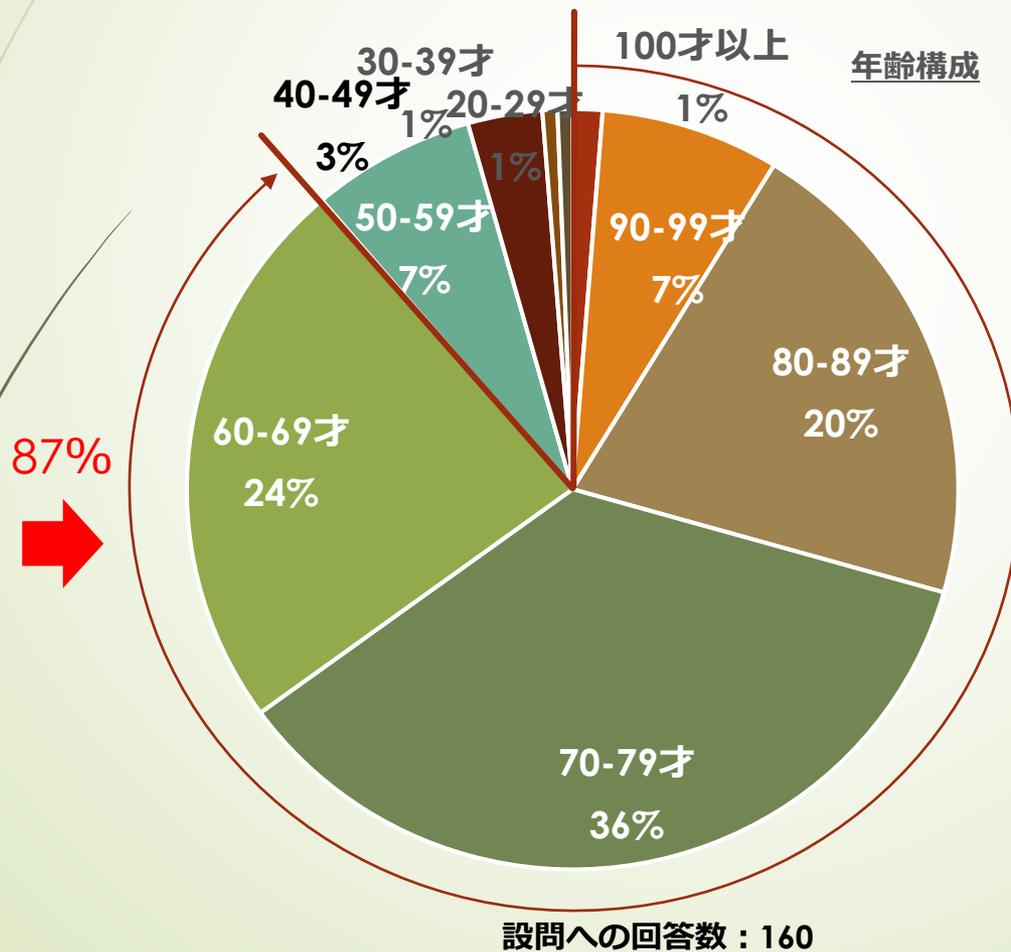
No.	地域	現況面積(m <sup>2</sup> )	返信(m <sup>2</sup> )	返信面積比率
1	佐古	1,297,261	744,122	57.4%
2	西野・大谷・深淵	2,360,164	1,572,798	66.6%
3	下井・上岡	1,314,818	908,980	69.1%
4	東野	1,825,753	1,048,214	57.4%
5	富家	925,220	618,222	66.8%
6	香宗	739,417	455,440	61.6%
7	吉原	809,809	424,597	52.4%
8	古川	437,288	260,175	59.5%
9	赤岡	580,401	450,114	77.6%
10	徳王子・岸本	3,020,829	2,228,900	73.8%
11	山南	2,365,532	1,459,258	61.7%
12	山北	1,749,997	1,196,689	68.4%
13	西川	1,107,364	738,328	66.7%
14	東川	777,707	485,386	62.4%
15	舞川・撫川・奥西川	277,516	143,200	51.6%
16	西山・坪井	1,600,275	1,044,408	65.3%
17	十ノ木・上夜須	801,984	453,988	56.6%
18	夜須川・細川・国光	695,643	402,999	57.9%
19	羽尾	134,915	73,671	54.6%
20	手結山	781,247	491,765	62.9%
	合計	23,603,141	15,201,256	64.4%

# アンケート集計 (1)

6

## アンケート回答者（農地所有者、農業者）の年齢構成

- 回答者（農地の所有者、農業者）の87%は60歳以上の状況である。



## アンケート集計 (2)

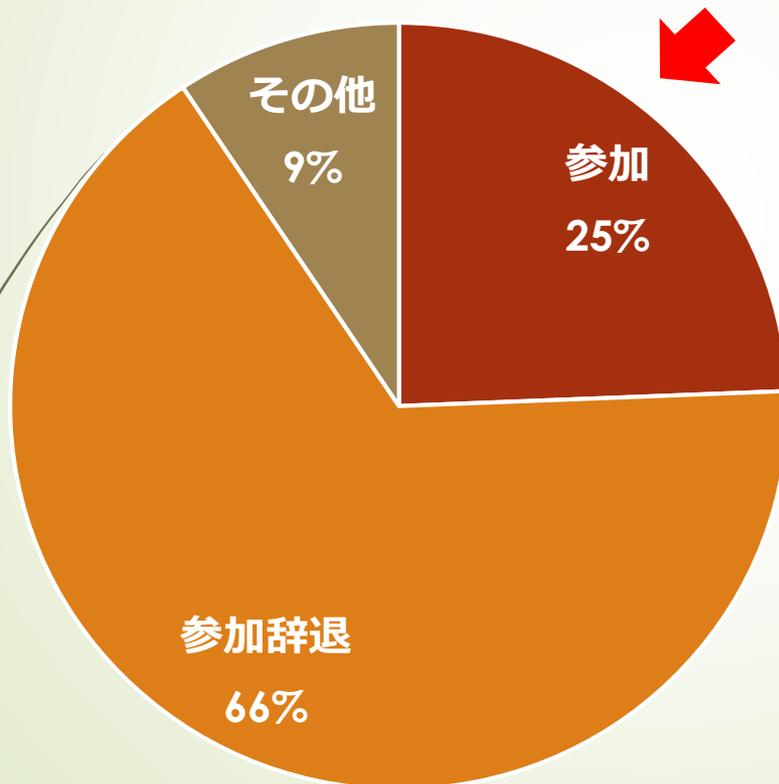
### 地域会合への参画意向

7

話し合いへの参加希望 (取組に対する意見等)

- 回答者の25%は地区会合に参加を希望されている。
- 参加辞退者も、地区会合の内容は知りたいとの意向を持っている。

会合への参加



コメント：

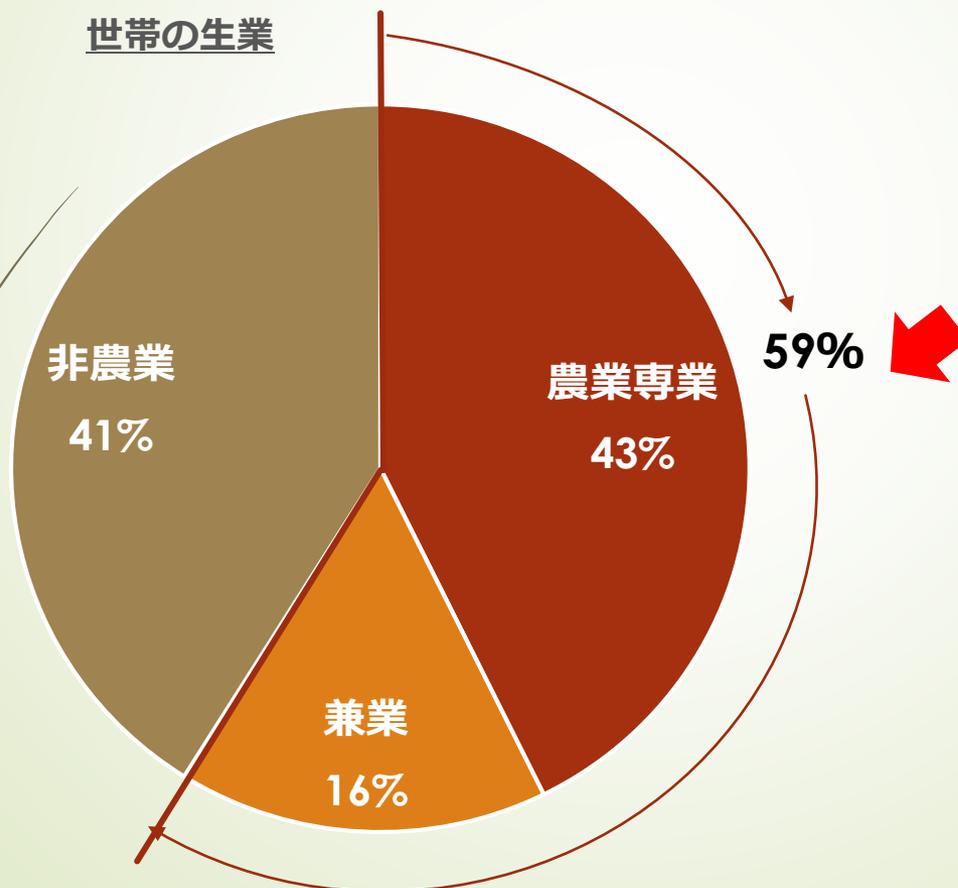
- ・協議への参加は困難につき、資料を送付いただきたい。方針表明等は別途当方より行うこととしたい。

設問への回答者数：160

8

### Q1. あなたの世帯は、どのような世帯ですか？

- 専業、兼業合わせても農業を営む割合は59%となっている。
- 農業を営んでいない人は41%であった。（離農し他の職業へ、相続、高齢、施設入所、県外など遠方に転出：土地持ち非農家）



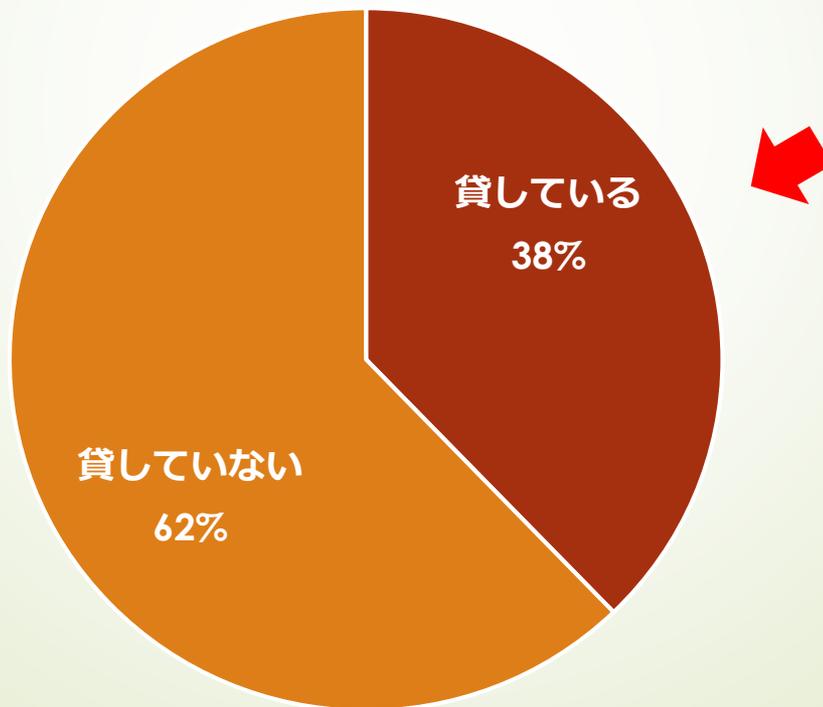
コメント

・現在（の考えでは）。

Q2. 現在、人に農地を貸していますか？

- 現状で農地所有者の38%は農地を貸している。

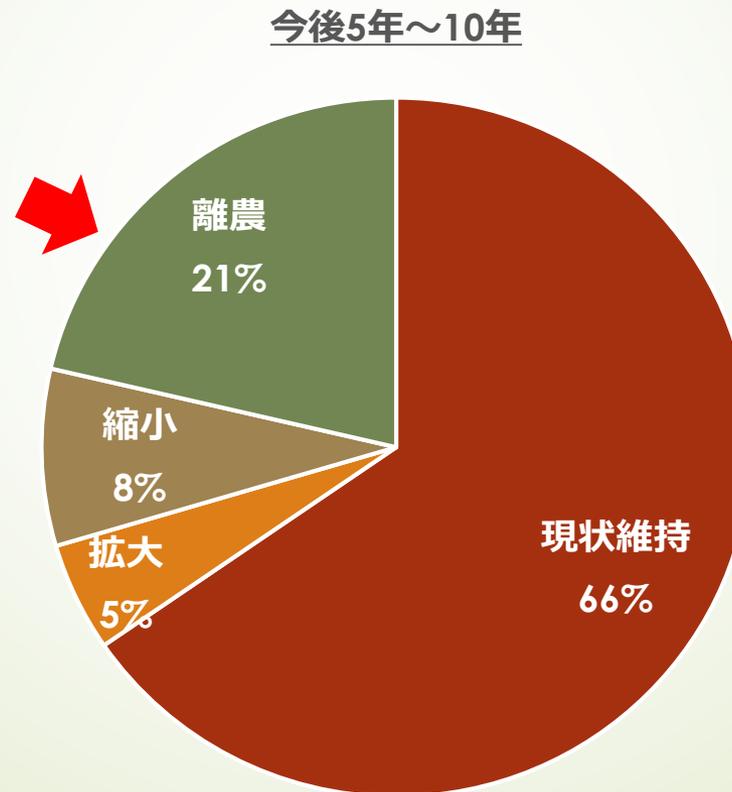
農地の現状



設問への回答者数：180

Q3. 5～10年後を考え、あなたはどのようにしていきたいですか？

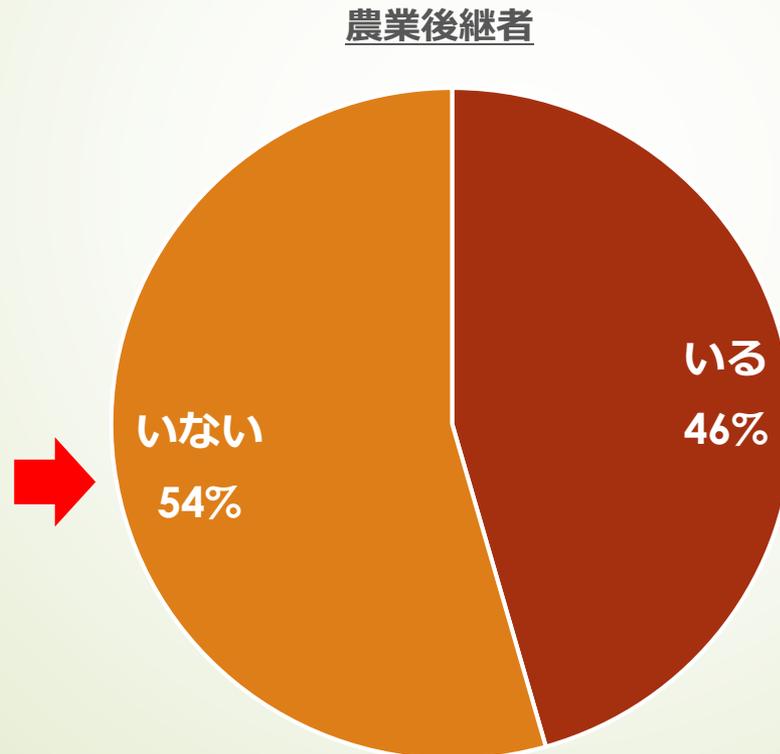
- 今後も現状維持するとの意向が66%あった。
- 一方、農業を辞める或いは規模縮小する、との回答も併せて29%あった。



設問への回答数 : 159

### Q4. 後継者（農業後継者）はいますか？

- 農業後継者のいない割合が54%あった。
- 跡継ぎは居ても農業を継がないあるいは継ぐかどうかは不明であるケースがある。
- 担い手の後継者不在の状況も垣間見える。



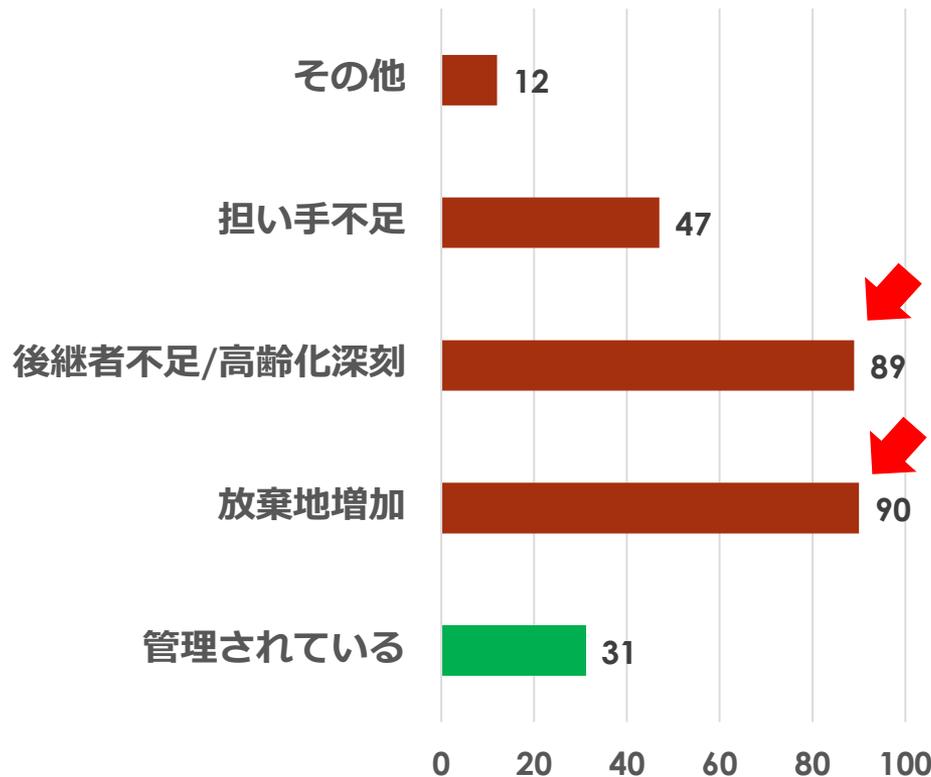
設問への回答者数：169

12

Q5. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようになっていますか？

- 放棄地の増加、後継者不足や高齢化が深刻であるとの認識が多い。
- 所有者が悩みを抱えている状況も伺える。

地域の農業者/農地の状況



設問への回答数：269

コメント：

- ・解らない、**サラリーマン**なので他人の事は！
- ・離れて生活をしており、わからない状況です。

- ・？
- ・よく承知していない。
- ・知らない。

- ・**農家収入の減少**
- ・**農業法人運営**

- ・**高知市にいる子**が手伝いに来ている。家族で十分話をしていない。
- ・養子に一任。

- ・農業に対する**希望が持てない**。
- ・売りたい人が多い。農振が厳しいので売るのが難しい。

# アンケート集計 (8)

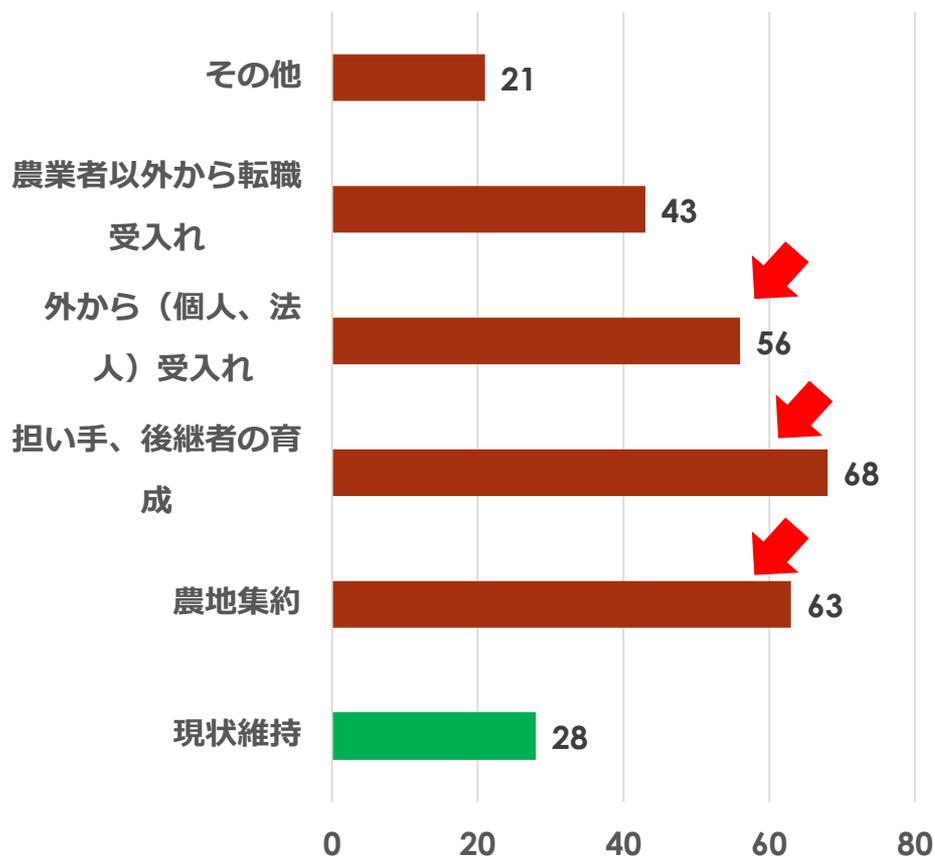
持続可能な農業のために

13

Q6. あなたの地域の農業が5~10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

- 現状では地域の農業を維持できる状況ではなさそうである。
- 担い手を育成する、農地を集約していく、といった意見が多い。

## 持続可能な農業



## コメント

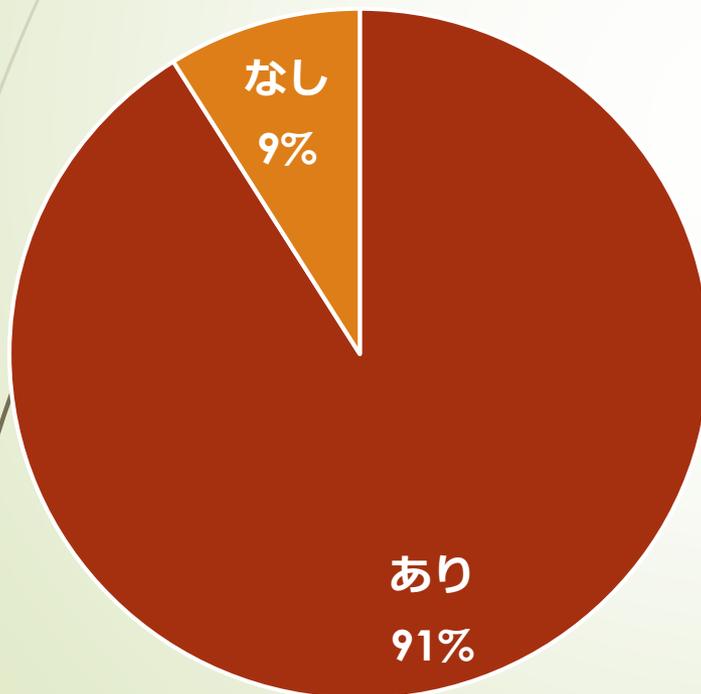
- 県外に住み農業をしたことがないのでわかりません。
- ?
- わからない。
- 考えたことがありません。
- 現時点で深く考えたことが無かった。
  
- 農業で生活できる収益確保の施策を行う。
- きちんと管理してくれるのであれば、地域内外を問わずOK。
- 企業からの参加。
- 新品目の導入。
- 都会の人々が望むものを作る。
- 農振が厳しいので売るのが難しい。農振の見直しを（希望する。）
- 一部の土地で工場建設も検討中。

設問への回答数：279

Q7. あなたの農地で、売ったり貸したりしてもよい農地やハウスがあれば教えてください。

- 貸し希望の背景は、農業者が体力的に続けられない状況がある。
- 売却希望の背景には、借地者が高齢、その後継者がいないケース、県外/市外に在住しており耕作地までが遠距離のケースなどがある。

売り貸し候補地



設問への回答数 : 56

#### コメント

##### 【貸したい】

- ・維持管理が無理/維持管理が大変
- ・高齢化/高齢化の為/高齢等のため。
- ・高齢で管理が十分でない。
- ・管理する者が居ない
- ・今は誰も（管理する者が）居ない。
- ・高齢化で維持管理する者が居ない。
- ・自分が維持管理ができなくなった場合
- ・家族の一致が得られるか、後継者が居ない。
- ・高齢化や女性だけで耕作が無理
- ・孫が農業するまで
- ・所有者は県外に住んでいて管理が難しい。
- ・接道が赤線のみで不便。
- ・トラクター・車が入らない。
- ・道や水路が無く不便。
- ・草畑になっているので。

##### 【売りたい貸したい】

- ・いまは貸しているが、今後維持管理できない。
- ・農業をする気持ちが無い。
- ・分筆をしてくれる方に譲りたい。
- ・体力的に管理能力（高齢化）不足の為。先祖代々の土地ゆえ大切に有効に活用してほしい。
- ・マゴのわかれ家にしたい。

【売りたい】

- **高齢等のため/高齢化のため。**
- 後継者が居ない。
- 高齢化等で維持管理をするものが居ない。
- 孫が相続した場合売ることになるのでは。(77)
- 養子の意向。
  
- すでに売却の予定。
- 所有している畑は、売れるなら売りたいです。
- 貸している。**価格によっては**売りたい。現在は貸してあるが売りたい。
- **無料でもいいので譲りたい。**
- **自宅の隣地であり、住宅と一緒に売却したい。**
- **宅地として売れるだけ売りたい**
- もらっていただけの方が居れば差上げます。但し、登記費用は負担願います。
- 宅地になる。
- 2年ほど前に、土地を売って欲しいと言われた方が来たが、その時は考えてはなかったが、処分したい意向。

# ■ アンケートからの農地の売却・賃貸希望の背景概要

16

## 農業者側の事情

- 高齢化、体力・気力低下
- 所有者/借地者の病気
- 県外など遠方に在住
- 農機具を所有していない
- 他の仕事に専念
- 後継者不在/跡継ぎまで年数要
- 耕作者である借地人も高齢/後継者が居ない

農地を農地として管理できない。

## 耕作条件

- 小さい農地区画
- インフラ（農道/水路）不備
- 病害（生姜）/使用形態（養殖）

農地としての適性が低い。

## 農業の採算性

- 米づくりでは赤字

農業（稲作）を続けられない。

## 資産活用

- 生活費の捻出
- 事業の資金の調達
- 貸地としても経費（公租公課、水利）要

農業以外で資金需要がある。

賃貸

売却